

指定管理者モニタリング評価シート

評価対象年度： 平成 30 年度

施設所管課： 鎮西市民センター産業・教育 課

1 施設の概要

施設名	唐津市玄海海中展望塔	所在地	唐津市鎮西町波戸1628番1地先
設置目的	玄海国定公園の特別地域に指定された玄海海中公園の海中自然景観を利用者に見せることで、自然科学の知識向上と観光事業の発展を図るもの。		
開館日	3 6 5 日（年中無休）	開館時間	4月から9月までは午前9時から午後6時まで 10月から3月までは午前9時から午後5時まで

2 施設の利用状況

説 明	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	利用状況の傾向と増減の要因
入館者数	51,407 人	46,395 人	38,409 人	35,104 人	全体では前年比－9％となっているが、特に4～7月が前年比－32％となっている。これは異常気象（猛暑）の影響と考えられ、近隣の施設でも同様の傾向が見られる。
	人	人	人	人	
	人	人	人	人	

3 指定管理者の概要

指定管理者	名称	株式会社 桃山天下市			
	所在地	唐津市鎮西町名護屋1859番地			
	代表者	代表取締役社長 坂口 栄一			
指定期間		平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日			
指定管理者の業務内容		(1) 展望塔の利用の許可に関する業務 (2) 展望塔の施設及び設備の維持管理に関する業務 など			
事業の実施状況		(1) 適正な人員配置を行い、条例に基づき入場の手続きを行うとともに、割引制度を導入し入館者の増加を図った。 (2) 施設の定期的な補修については唐津市が行うものの、日々の清掃や設備の点検など可能な範囲は職員で行った。専門的な知識を要する点検管理や警備については、専門業者に委託し適正に業務の遂行を行った。 ・海中観察窓清掃業務委託 ・空調設備保守点検業務委託 など			
職員の配置状況	常勤 正規職員、フルタイム等	非常勤 嘱託・臨時職員、パート等		常勤の内訳	
	3 人	1 人		受付・管内清掃・岬草刈り	

4 収支状況

単位：円

	平成30年度 決算額	平成29年度 決算額	増減額
収 入 (a)+(b)+(c)+(d)	16,882,401	17,705,640	-823,239
指定管理料 (a)			
利用料金収入 (b) ※利用料金制の場合のみ	16,302,220	17,182,539	-880,319
事業収入 (c)	388,112	429,462	-41,350
自主事業収入	388,112	429,462	-41,350
—			
—			
—			
その他収入 (d)	192,069	93,639	98,430
支 出 (e)+(f)+(g)+(h)+(i)	20,697,386	21,337,910	-640,524
人件費 (e)	7,202,432	7,625,321	-422,889
施設管理費 (f)	3,153,644	3,581,558	-427,914
光熱水費	512,950	549,654	-36,704
修繕費	0	43,440	-43,440
広告宣伝費	49,779	352,331	-302,552
委託料（再委託）	2,508,045	2,626,413	-118,368
保険料	4,930	0	4,930
事務費	20,529	9,720	10,809
その他	57,411	0	57,411
事業費 (g)	283,554	0	283,554
うち自主事業に伴う 経費	283,554	0	283,554
施設使用料 (h)	10,000,000	10,000,000	0
その他支出 (i)	57,756	131,031	-73,275
収支	-3,814,985	-3,632,270	-182,715
利益配分額			

5 項目別評価

評価項目		自己評価	市の評価
評価の視点			
1 業務の履行状況			
(1) 運営業務（全般）			
①運営管理	条例、協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守しているか。	適	適
	使用料または利用料金の徴収、減免手続き等を適切に行っているか。	適	適
	施設の利用者数、稼働率を適切に管理しているか。	適	適
②人員体制	施設の管理運営に必要な資格、経験等を有する人員が過不足なく配置されているか。	適	適
	従業員の労働条件は適正であるか。	適	適
	従業員の資質向上のための指導、研修等を適切に実施しているか。	B	B
③管理記録	業務日誌等を適切に記録し、保管しているか。	適	適
④連絡調整	協定書等に定めた各種報告書を、期限内に市に提出しているか。	適	適
	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか。	適	適
⑤危機管理	基本協定に定めるリスク分担に従い、適切な対応を行っているか。	適	適
	緊急時に直ちに措置を講じ、市に報告を行ったか。	適	適
	緊急時の連絡体制、マニュアルを整備し、定期的に研修、訓練等を行っているか。	B	B
⑥個人情報保護	個人情報保護に関する法令等を遵守しているか。	適	適
	施設利用者等の個人情報の漏洩、滅失等の事故防止策を講じているか。	適	適
(2) 維持管理業務			
①維持管理	省エネルギー、省資源など環境への配慮がなされているか。	適	適
	施設や設備、備品等の保守管理（点検や修繕等）を適切に行っているか。	B	B
	清掃、警備、衛生管理その他施設管理に必要な業務を適切に行っているか。	B	B
②再委託	再委託にあたり、事前に契約方法及び契約事項を市に報告しているか。	適	適
	再委託先からの業務報告を受けるなど、履行状況を適切に管理しているか。	適	適

2 サービスの質			
(1) 運營業務（利用者対応、情報発信等）			
①利用者対応	施設利用者に対して、設備、備品等を適切に提供しているか。	適	適
	施設の利用許可、案内等を迅速かつ適切に対応しているか。	適	適
	施設利用者への言葉使い、態度、服装等、接遇が適切であるか。	適	適
②苦情等対応	要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告しているか。	適	適
	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応しているか。	B	B
③利用者アンケート	適切な利用者アンケート調査を実施し、その結果が良好であるか。	B	B
	利用者アンケートの結果に基づき、適切な改善策を講じているか。	B	B
④施設の利用状況	施設の利用者数、稼働率等に関する目標を達成しているか。	B	B
⑤情報発信	利用者の利便性向上のため、ホームページ等の更新、管理を適切に行っているか。	適	適
	各種媒体を利用し、事業、イベントの開催案内等の広報を適切に行っているか。	B	B
(2) 事業実施状況			
①事業実施状況	事業計画に定めた事業を適切に実施しているか。	適	適
	施設の設置目的に沿った自主事業を実施し、市民サービスの向上が図られたか。	B	B
(3) 地域貢献			
①地域貢献	地元雇用を積極的に行っているか。	適	適
	地域の意向に沿った運営や、地域活動への参加・協力を行っているか。	B	B
	地元事業者からの物品調達など、地元を活用した運営がなされているか。	B	B
3 継続性・安定性			
(1) 運營業務（経理事務、予算執行等）			
①経理事務	専用口座、帳簿等を備え、指定管理業務に係る経理区分が明確に整理されているか。	適	適
②予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行しているか。	適	適
③取引状況	取引先等の関係業者との関係は良好であるか。	適	適
(2) 収支状況			
①経費縮減	施設の管理運営に係る経費が縮減されているか。（経費削減に努めているか。）	B	B
②収入増加	収入増加のための取り組みがなされているか。	B	B
③収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当であるか。（目標を達成しているか。）	B	B

※ 上記の評価項目、評価の視点は標準的なものであり、施設の特性に応じて調整（追加、削除）を行うこととする。

6 総括評価及び総合評価

総括評価	1 業務の履行状況	B	指定管理者の管理運営に対する評価・コメント
	2 サービスの質	B	
	3 継続性・安定性	B	
総合評価		B	29年度と比較すると入館者数は減少しているが、特に4～7月までが猛暑等の影響で落ち込みが激しかった。（売上金は前年比69%） しかし、8月以降は営業活動や広告宣伝の効果もあり、入館者数及び売上金は前年度を上回っている。（年間売上金は前年比97%まで回復） 今後も情報発信や他の観光施設と連携したイベントなどを推進していくことで入館者数の増加を図ることが必要となる。また、近年増加傾向にあるインバウンドの入館者への対応（多言語標記等）を強化する取組も必要と思われる。